

市長から 市民のみなさんへ



山陽小野田市長 白井博文

⑨「まちづくり市民会議『市の名称』部会の提言書」についてと「市章デザインの選定」について

「市の名称」問題について終息宣言します

9月20日、まちづくり市民会議「市の名称」部会の委員のみなさんから、「山陽小野田市の名称について再検討を見送らざるを得ない」という提言書をいただきました。その内容に関する記事と、提言書の全文が3ページから掲載されていますので、是非ご覧ください。

私も、毎回、部会に出席し、議論を聞かせていただきましたが、時には激しく意見の応酬が行われる場面もあり、この問題に関する委員のみなさんの熱意を肌で感じる事ができました。週1回のペースで話し合いを続けられ、短期間で提言をまとめられたことについて感謝するとともに、みなさんのボランティア精神に敬意を表します。

私は、この提言を率直に受け入れ、「市の名称」問題について、市民のみなさんに終息宣言をいたします。

アンケートで「再検討を望む」とされた方々の意見を決しておさなりにしているわけではありません。あくまでも、アンケートは、「山陽小野田市」という市の名称に対するイメージを確かめるために行ったものです。「再検討を望む」とされた方も、仮に「市の名称」部会に参加され、この問題に関する様々な資料の分析とともに、検討を重ねられたなら、おそらく提言書の結論に納得されたのではないかと思うのです。

「市の名称」部会の提言から学ぶもの

しかしながら、『再検討を見送らざるを得ない』と提言書に表現されているように、部会のみなさんが積極的に、「山陽小野田市の名称でよい」と考えておられるわけではないという点については、重く受け止めなければならないと考えます。5ページにありますように、「ふさわしい名前ではない」と思う方が19人中、16人というところからもそれは明らかです。「山陽小野田市で仕方がない」とした理由の主なものに市の財政問題をあげられていますが、名称の変更にかかる事務作業、住民投票にかかる経費を考えると、市の財政が危機的状況を迎えている時に、そのような新たな出費をおこすべきでない、と部会として提言したということです。

折しも、平成18年度の予算編成作業が10月から始まり、市役所内の各課には、危機意識を共有し、知恵を絞った案を提出するように、昨年と同様の要求は認めないと指示を出したところです。「市の名称にはいまだ違和感があるが、まずは儉約が第一」という結論を出された部会のみなさんの意向にしっかりとこたえられるように、決意も新たに、行財政改革に取り組んでいくつもりです。

もう一つ、今回、部会でさかんに取り上げられた、「山陽小野田市」という名前に決められた経緯が不透明だった」という問題点について、これからまちづくりをすすめるにあたり、市長として、教訓として胸に刻んでおかなければならないと感じました。名称決定にかかわった関係者の方のご苦労は確かに並々ならぬものだったとは思いますが、残念なことに、部会のみなさんは、「名称が市民不在で決められたことに、釈然としない」と提言書の最後に記しています。市長の私としては、この部会のみなさんの声を、市政を推進する上での一つの警鐘ととらえ、なお一層「市民参加による市民本位のまちづくり」をおしすすめていきたいと強く思うのです。

市章デザインの選定作業について

市の名称問題に関連して、市章デザインの選定の件についてもお話します。私が市長に就任したとき、すでに全国から市章のデザインについての公募が行われていました。「山陽小野田市」という新市の名称をもとに、作品を応募された方に対して、「市の名称」について、再度、検討する場を設けた私の決断は、市章選定作業の流れに水をさすような行為だったと言えます。ご応募いただいた方々に、ずいぶん、ご迷惑をおかけしたことと思います。今回、名称の問題が決着したことを受けて、選定作業を再開します。

広報6月1日号のこのコラムでお話しましたが、5月中旬、ホームページでの「市章デザイン募集」の項目を削除し、募集を一旦、中断しました。この件につきましては、新聞・テレビなどで報道されたことにより、応募を取りやめられた方もおられるかもしれません。混乱を招いたことを改めておわび申し上げます。結果的に、それ以前に広報などでお知らせしていたため、中断以後も、続々と作品のご応募があり、5月下旬の締め切りの日までに1,242点もの応募をいただきました。市の名称が決着した時点から、再度、公募をはじめつもりでいましたが、締め切り日までに予想を超える数の作品の応募をいただいたことから、募集は再度行わないことにします。

7ページにもありますように、すでに第一次審査を終え、12点までに絞り込んでいるところです。その中から、さらに3点に絞り、11月から、市民のみなさんによる投票を行い、年内には山陽小野田市の市章が決定する予定です。

投票の方法は、広報、ホームページにて後日、お知らせします。お近くの公民館などにも応募箱をおきますので、関心のある方は是非、ご参加いただければと思います。

**10月の
対話の日**

●とき:10月20日(木)19時から
(1時間半程度の予定)

●ところ:有帆福祉会館(新有帆町)